

一学期後半のスタート

夏休みが明け、8月27日（金）から一学期の後半がスタートしました。子どもたちは、夏休みの宿題を持ちながら登校してきました。新型コロナウイルスの感染対策のため、玄関前での健康観察を夏休み前より徹底することにしました。児童は、自分の体温と家族の体調を担当の先生に報告して校舎内に入っていました。

全校朝礼は、今回も校内放送で行い、児童は各教室のテレビを通して話を聞いていました。校長の話の後、各学年の代表の児童が夏休みの思い出や1学期後半の抱負をスピーチしました。

「わたしがなつやすみにがんばったことは、らじおたいそうです。まいにちあさ6じ25ふんから35ふんまで、テレビのラジオ体操を見ながら、おとうさんといっしょにしました。すこしできるようになったので、ぜんぶできるようにがんばりたいです。わたしのなつやすみのおもいでは、ゆりのさとこうえんへあそびにいったことです。どうしてかという、こうえんにおおきくてながいすべりだいがあって、ともだちとみんないっしょにすべりだいをすべってあそんだことが、おもしろかったからです。」
1年生児童



玄関前の健康観察

「ぼくは、夏休みに川にあそびに行きました。年中の時から毎年いって、いつもは、水であそびに行っていますが、今年は、水の中にある虫をつかまえるということで行きました。とんぼをつかまえたり、川にねころんで、流れたりして、ぼくは、川の中にある虫をつかまえることはできなかったけど、魚を食べているアオサギを見られたのでよかったです。来年もまた行きたいです。」
4年生児童



テレビでの全校朝礼

「卒業まであと半年。半年という残された時間のなかで私がかんばりたいことは、「一つ」あります。それは、体育大会です。体育大会は、年に一度だけのビッグイベントです。そして、私にとって小学校生活最後の体育大会にもなります。もちろん、勝ちたいという思いもあります。ですが、私が一番大事にしたいことは、同じ班の1年生の思い出づくりです。私が1年生だったころ、そのときの六年生に楽しい運動会という思い出を作ってもらいました。もちろん二年生の時も三年生、四年生、五年生の時も運動会は楽しかったです。でもやっぱり、初めての経験というのは、ずっと記おおくに残ります。だから、私がしてもらったように、私も今の一年生にしてあげたいと思いました。私には、あの時の班長みたいには、出来ないかもしれません。ですが、一年生だけではなく、班のみんなの「最高の思い出」となればいいなと思っています。そのために自分に出来ることをしっかり考えて頑張りたいと思います。」
6年生児童



放送室からスピーチ



放送室からスピーチ

様々な活動を通して子どもたちは成長していきます。学校でも、コロナ対策に十分心がけながら、子どもたちの活躍の場を設けてまいります。